

令和5年  
7月21日発行

No.117



六戸町議会  
ホームページQRコード

# ろくのへ 議会だより



## ろくのへ体験観光ツアー 町の魅力を体感!

5月27、28日、一泊二日の日程でろくのへ体験観光ツアーが開催されました。参加者は、町内で、田植えや、カヤック、川辺でのサウナ、五右衛門風呂等、六戸の魅力を体験し、地元自慢のプレミアムシャモロック#6も味わいました。

### 【新体制スタート!】

議会人の決意 ..... 2

### 【議案審議】

6月定例会で決まったこと ..... 4

### 【一般質問】

役場内の労務管理、物価高騰対策  
学校給食など ..... 6

# 新議会スタート!

# 議会人の決意

## 常任委員会

常任委員会は、総務常任委員会と産業民生常任委員会の2つあります。  
六戸町における事務に関する調査や議案などを担当委員会で専門的に審査しています。

## 議会運営委員会

常任委員会とは別に、議会運営を円滑に、効率的に運営するため、本会議での議事の運営方法や議案等の取扱いについて協議し意見調整を図る場として設置されています。

町議会議員選挙は4月18日に告示され、4月23日の議会議員の選挙において12名の議員が決定しました。5月8日に臨時会を開き、議長、副議長を選挙で選出したほか、常任委員や監査委員なども決定いたしました。  
4年間の任期中、町民の付託にこたえる議会活動ができるよう、議員一同決意を新たにしています。

## 総務常任委員会(6人)

「教育は福祉」の観点から、令和7年に新たな六戸学園がスタートするにあたり、県内一素晴らしい学校といわれる、誇れる学校になるよう、全力で取り組みます。



副委員長  
こうさか しげる  
**高坂 茂**

高齢者、弱者、子育て家庭への支援、教育環境の充実等、町独自の施策の確保、令和7年に開校予定の小中一貫義務教育学校の整備に積極的に関わっていきます。



委員長  
やまもと みのる  
**山本 実**

少しでも子育て世代の経済的負担を減らす事が出来る施策の提案。また、この町で生まれ育った子どもたちが、一人でも多く六戸町に定住出来るような環境づくりに取り組みます。



たねいち まさたか  
**種市 正孝**

長引くコロナ禍のなかで疲弊した町事業所等の立て直し、新設する六戸学園の基盤作りへの協力、子育て支援の推進、健診率向上を柱とする健康を守るための活動に力を入れていきます。



もりた よしひこ  
**盛田 嘉彦**

町民の皆さんの意見や要望を積極的に取り入れ、公平で透明性の高い政策決定が出来るように努めます。また、地域経済の活性化にも努めます。



かわむら しげみつ  
**川村 重光**

※新議員の詳しい紹介は町のホームページをご覧ください。

## 持続可能な町と自然を愛する人づくり



副議長  
すぎやま しげお  
**杉山 茂夫**

選挙後の臨時議会において、光栄にも副議長に選出され、その職責の重さに身の引き締まる思いでいます。これまで地方議会改革の旗のもと、議会基本条例の制定や町民との意見交換会など議会の活性化と開かれた議会を目指して取

り組んできました。今後は下田議長の方針のもと、タブレット活用の検討と公平公正な議会運営に努め、特に六戸学園の開校に向けた周辺の環境整備や町施設と廃校舎の有効利用を図っていきます。



議長  
しもだ としみ  
**下田 敏美**

この度、5月8日の議会臨時会において、議長に選出され身に余る光栄とともに、その職責の重さを痛感しています。今、六戸町が直面している待ったなしの課題は、令和7年4月開校の六戸学園の建設、少子高齢化対策、農業振興対策、インフラ整備と山積

私はこれらの課題に対し、町民の皆様のご意見に耳を傾けながら行政と一体となって取り組んでいきます。その先導役として議会運営について、中立、公平、公正の立場を堅持し、さらなる議会改革を推進して町発展のために努力していきます。

## 町発展のために努力を

「あなたの声を町政に」をモットーに町の抱える問題解決に全力を尽くします。お気軽に声を掛けていただければ幸いです。

産業の更なる発展、子育て事業の充実等の実現を目指して頑張ります。また、議会運営委員会委員長として、議会改革の推進のため全力を尽くしていきます。

## 産業民生常任委員会(6人)



副委員長  
まつはし かずお  
**松橋 一男**

「町民一人ひとりの声を町政に」を目標に議員活動をしてきました。三期目も引き続き、町民主体、住んで良かったと思う町づくりに取り組みます。



委員長  
ながね かずお  
**長根 一男**

4年間で子ども達が希望を持てる町づくり、教育環境整備に力を入れて行きたいと思えます。また、高齢者の方々の居場所づくりに力を入れ、住んでよかった六戸町を共有していきたいと思えます。



まつむら えいこ  
**松村 英子**



きゅうでん しんいち  
**久田 伸一**

町民の皆さんの笑顔あふれる町を目標に、福祉、教育、農業、環境等、町行政の諸問題に議員として、自覚を持ち取り組みます。町民の声を町政に!!



とまべち しげお  
**苦米地 繁雄**

議会から選出された 監査委員	種市正孝	高坂茂	杉山茂夫	長根一男	盛田嘉彦	副委員長 松村英子	委員長 松橋一男
	議会広報委員会						
	苦米地繁雄	山本実	川村重光	長根一男	杉山茂夫	副委員長 久田伸一	委員長 久田伸一

6月定例会は、6月5日から7日までの3日間の会期で開かれました。専決処分分の報告や条例の一部改正、令和5年度補正予算など、20件の案件が町長から提出されました。審議した結果、議員全員賛成で原案どおり

可決されました。

一般質問は3議員が登壇。役場内の労務管理、物価高騰対策、学校給食事業、選挙投票率について、町の考えを問いました。町のおりです。なお、主な審議等は次のとおりです。

# 校名は六戸町立義務教育学校六戸学園



「六戸学園」の校章

校章は公募した中から選考された最優秀作品。町の木の楓の葉をベースにしています。

## 条例

### ◇六戸町立義務教育学校設置

#### 条例

町内の全小中学校を統合し、9年間の小中一貫教育を行う義務教育学校を令和7年4月1日に開校するために、設置に関しての必要な事項を定めたものです。

#### 校名

六戸町立義務教育学校

六戸学園

#### 場所

六戸町大字大落瀬字坪毛沢  
25番地163

(旧六戸高等学校跡地)

## 補正予算

### ◇一般会計に9752万円増額

令和5年度一般会計予算は、歳入歳出に9752万円を増額し、総額が79億7652万円となりました。

うち、補正の主な内容は次のとおりです。

- ▽街路灯LED化工事ほか 1006万円
- ▽電力・ガス・食品等価格高騰重点支援給付金 3600万円
- ▽住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり3万円を給付する事業)
- ▽子育て世帯生活支援特別給付金 650万円
- ▽ひとり親世帯等臨時特別給付金 650万円
- ▽農業経営に関する意向調査及び目標地図素案作成業務ほか 1480万円
- ▽プレミアム付商品券発行支援事業 2517万円

## 質疑

### 地域農業

#### 問 長根一男議員

地域計画策定に伴う、農業経営に関する意向調査及び目標地図素案作成業務の内容は

#### 答 農政課長

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、令和5年4月より、地域農業のあり方を示した「人・農地プラン」が「地域計画」に名称が変わり、「目標地図」を新たに作成されることが義務づけられました。「目標地図」は、高齢等で耕作ができなくなった場合に、次の耕作者へスムーズに引き継がれるよう、10年後の耕作予定者を示すもので、農地利用の将来図となるものです。農業委員会で作成することによって、全額交付金で作成することができま

### プレミアム付商品券

#### 問 盛田嘉彦議員

プレミアム付商品券の発売日と販売セット数は

#### 答 まちづくり推進課長

発売時期は、8月20日、日曜日を予定しており、4千セットを販売する予定です。



8月発売予定のプレミアム付商品券

### 防犯灯のLED化

#### 問 高坂茂議員

防犯灯をLED化する場所は。また実施の期間は

#### 答 まちづくり推進課長

主要地方道、八戸三沢線の上町、中町、南町一、南町二、押込、下町の町内会にある、スズラン型の街路灯103基になります。令和6年1月末までに工事を完了する予定です。



LED化することが決まった、街路灯

# 審議した議案の



第2回臨時会(開会5月8日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
報告	令和4年度六戸町一般会計繰越明許費繰越計算書 令和4年度六戸町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書 令和4年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計繰越明許費繰越計算書	—	報告	5月8日
条例の一部改正(専決処分)	六戸町税条例等の一部を改正する条例(令和6年度から課税される森林環境税の導入に伴う改正及び、固定資産税、軽自動車税に関する法令改正に伴う所要の規定の整備等) 六戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例(地方税法施行令等の一部を改正する政令及び地方税法施行規則等の一部を改正する省令に伴い、後期高齢者支援金等課税額の限度額を2万円引き上げ、減額措置に係る軽減判定所得の基準額の見直し等) 六戸町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例(関係省令の一部改正に伴い、不均一課税の適用期限の変更) 六戸町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例(関係省令の一部改正に伴い、根拠法令となる法律名を改め、課税免除の適用期限の変更)	全員賛成	承認	
令和4年度補正予算(専決処分)	一般会計補正予算(第8号)(2590万円を増額補正)	全員賛成	可決	
	一般会計補正予算(第9号)(3億169万円を減額補正)			
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)(9806万円を減額補正)			
	下水道事業特別会計補正予算(第5号)(2777万円を減額補正)			
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)(809万円を減額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第4号)(5754万円を減額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)(9千円を減額補正)			
国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第4号)(3142万円を減額補正)				
財産取得	財産の取得について(町民バス(中型バス)2台購入:4246万円)		可決	
人事	六戸町監査委員の選任(種市正孝氏=赤田、再任)	全員起立	同意	

第3回定例会(開会6月5日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
条例	六戸町立義務教育学校設置条例(令和7年4月1日に開校する六戸町立義務教育学校の設置のため、名称及び位置について定めるもの)	全員賛成	可決	6月7日
令和5年度補正予算	一般会計補正予算(第1号)(9752万円を増額補正)			
	下水道事業特別会計補正予算(第1号)(440万円を増額補正)			
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)(410万円を減額補正)			
人事	教育委員会教育長の任命(任期満了に伴う瀧口孝之氏の再任に同意を求めるもの)	全員起立	同意	
	農業委員会委員の任命(任期満了に伴う委員15名の任命に同意を求めるもの)			

第4回臨時会(開会6月30日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
工事の契約	工事の請負契約(旧県立六戸高等学校建物等解体工事)(契約金額:3億4320万円)	全員賛成	可決	6月30日



まつむら えいこ 議員  
松村 英子

# 職員の働き方改革は

## 職場改善に努力 — 町長

**問** 役場職員の不足により、過重労働と思われる仕事環境の悪さが感じられるが、それに対する町の考えは

**町長** 正職員の不足の対応として、会計年度任用職員を採用して充足しており、過重労働の環境ではないと認識しています。

**問** 職員を充足しているのに、毎日遅くまで残っているのは

**町長** 基本的に5時退庁というのは、常に話しています。

特別な業務がない限り、早く退庁するよう指導していきたいと思います。



更なるコミュニケーションを図れる環境を

**問** 業務担当が一人のため、有休が取れない。ストレスで心身症等になる職員が多すぎる。管理職は職員がどれだけ残業しているか理解していない。このような意見に対しての考えは

**総務課長** 仕事の調整等の支援を組

めていないため、このような意見が出ているのだと感じます。まずは、上司と部下の間で話し合える環境づくりが重要と考えます。

# ハラスメント対策は

## 今後、指導していくー総務課長

**問** 役場の中で、パワーハラスメントと思われる対応を行っている管理職がいるようですが、そのような管理職に対する指導は

**総務課長** 管理職の立場としての注意や指導が、そのような捉えられてしまったと思

います。今後、指導していききたいと思います。

**問** 総務課は職員全体を把握する役目があるのでは

**総務課長** 総務課が職員との相談窓口です。相談を受ける体制について、充実させていかなければいけない

と思っています。今後、体制について検討していきたいと思っています。

**町長** 今後、より職員とコミュニケーションを図りながら、職場環境を改善させていきたいと考えています。

# ※ファミリーサポートセンター設置を

## ニーズ調査してから対応ー福祉課長

**問** 子育て支援のためにも、ファミリーサポートセンターの設置を検討しては

**町長** 当町では、一時保育利用に対する

ニーズが少ないため、子ども園での一時預かり事業や延長時間保育事業、なかよし会での保育時間の延長等で一定のニーズに対応しており、実施の

検討は現在行っていない状況です。

**福祉課長** 町で事業を行うためには、財政状況、人員確保の問題等の検討事項が多くあります。まずは、ニーズ調査をしてから対応していきたいと思っています。

※「ファミリーサポートセンター」とは…

育児援助を受けた人と育児の応援をしたい人が、会員となり一時的に子どもを預かる制度

# 学校給食費の無償化の考えは

現状では考えづらいー教育長

**問** 国・県でも、学校給食費の無償化を検討しています。国・県に先立ち、当町でも、学校給食費の無償化を検討してみてもいいですか。

近年、食材価格が高騰する中で、質を維持し給食を提供するため、十和田市と協議し、食材価格高騰による保護者負担は求めず、令和5年度は学校給食に係る食材分として、1食当たり20円、市と町で負担することになっています。

そのため、教育委員会としては給食費の無償化は考えづらい状況です。

**教育長** 当町の学校給食は、十和田市と連携して広域事務組合の事業として実施しています。

給食の食材費は、1食当たり小学校で260円、中学校で290円を保護者負担としています。

全児童生徒の給食費を無料とした場合、令和5年度試算で約5500万円の経費を毎年度、町が負担することになります。

全児童生徒の給食費を無料とした場合、令和5年度試算で約5500万円の経費を毎年度、町が負担することになります。



みんなが大好きな給食の時間



ながね かずお 議員  
長根 一男

## 今後の物価高騰対策は

交付金、財政面を考慮し支援策を検討ー町長

**問** 食料品や電気料金の値上げに対し、支援策を行う考えは

**町長** 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、各種支援策を実施していく予定です。

事業概要としては、高齢者施設、障害者施設、児童福祉施設を対象とし、支援金を給付する社会福祉施設等物価高騰対策支援事業。住民税非課税世帯を対象とし、1世帯3万円を給付する電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業。物価高騰の影響を受けた町民の生活の支援を目的に、プレミアム付商品券発行支援事業を予定しています。

交付金に該当する形での支援策を考えなければなりません。そのため、全世帯ではなく、非課税世帯等を中心とした支援策となります。

**問** 肥料や燃料の高騰に対し、農家への支援策は

**町長** 昨年度、農業肥料等高騰対策事業として、申請者274名に対し総額4793万円を交付しました。

今後、国及び県へ支援策についての要望を実施し、財政面も考慮しながら、新たな支援策を検討していきたいと考えています。

**農政課長** 5月に上十

三地区農業委員会連絡協議会の中で、肥料高騰、軽油の免税について、県出身の国会議員に要望書を提出しました。

**問** 全世帯に行き渡るような支援策は

**企画財政課長** 国の臨時交付金等を活用して実施するため、

5月に上十

三地区農業委員会連絡協議会の中で、肥料高騰、軽油の免税について、県出身の国会議員に要望書を提出しました。



こうさか しげる 議員  
高坂 茂

# 投票率向上の対策は

選挙推進協議会で改善策を検討 — 選挙管理委員長

**問** 今回の統一地方選挙における当町の投票率の結果は

**選挙管理委員長**

当町の投票率は、県議会議員選挙40・18%、町議会議員選挙51・46%となつています。今回の投票率は、前回に比べ大幅に落ち込んでおり、この現実を重く受け止め、改善を図っていきます。

**問** 投票率向上のための具体的な対策は

**選挙管理委員長**

選挙時に、町の広報やホームページへの掲載、防災無線での放送、防災アプリの活用、庁舎正面へ懸垂幕の設置、県策定ポスターの掲示や選挙公

報の配布などによる選挙啓発を実施しています。

**問** 次回選挙時に対する新たな取組は

**選挙管理委員長**

新たに選挙権を得た18歳到達者に、投票啓発のチラシなどの発送、町内の中学校で選挙に関する出前講座を開催するなど、将来の投票率向上に向けた活動を進めており、この取り組みに改善を加え、新たなアイデアを検討していく考えです。



# 子育て支援策は

国、県からの支援制度で対応 — 町長

**問** 当町の学校給食費を無償化できないか

**町長**

当町の給食費は、広域事業のため、十和田市と協議が必要となります。また、給食費を無償化する場合、町が経常的に多くの経費負担をすることとなります。

**問** 子ども医療費を高校生まで無料化したいと考えています。

**町長**

子ども医療費助成は、平成20年4月より、中学生までを対象に、子ども医療費助成は、平成20年4

象に、3年に1度、財政状況等を踏まえ検討を行い、現在まで延長し実施しています。高校生までの助成拡大については、国・県の動向や財政状況を踏まえ、対応していきたいと考えています。

**問** 町独自の新たな支援策は

**町長**

六戸町第2期子ども・子育て支援事業計画に沿って、子育て環境の充実に取り組んでいます。今年度、計画策定の基礎資料とするためのニーズ調査を実施する予定です。この調査結果を踏まえ、検討していきたいと思ひます。



はじける笑顔の子ども達。子育てしやすい環境を

## 産業民生常任委員会

### 8月豪雨の影響は

6月13日、産業民生常任委員会では、所管事務である農政課より「令和5年(令和4年度産)春掘り長芋の出荷状況」についての聴き取り調査を行いました。

令和4年8月の豪雨の影響により、収穫量は大きく減少し、品質低下も大変大きく、出荷できない生産者もあり、農家所得が大きく減少する見込みとのことでした。

また、豪雨により、長芋種子の生育が悪く、長芋種子の不足により、令和5年度産の長いもの作付面積が減少していると説明を受けました。

委員からは、町の長いも生産の維持と、他の野菜も豪雨の影響を受けているので、資材高騰対策、肥料・燃料高騰対策に町が取り組んで欲しいとの要望が出されました。

その他には、新しく任命された農業委員との意見交換会の要望もありました。今後、農業委員会と協議していきたいと思えます。

産業民生常任委員会

委員長 長根 一男

開知小  
3年生

### 議場見学に来ました

来庁した開知小学校3年生



6月21日、開知小学校3年生の児童5名が社会科学見学で役場に訪問し、議場を見学しました。

10分程度の「ミニミニ議会」と題し、議員席に座り、質問に答えたり、実際の議会の雰囲気を感じ取っていただきました。

## 総務常任委員会

### 六戸学園の開校に向けて

総務常任委員会では、6月22日に今後の委員会の活動内容について協議を行いました。

委員からは令和7年4月開校予定である、小中一貫校義務教育学校六戸学園を中心に検討を行いたいとの意見や、現在各校で行っているコミュニケーションスキルの活動についても

勉強していきたいと意見が出されました。

また、昨年度までコロナ禍で実施できなかった、防衛や防災に対する視察研修についても、今後実施する方向です。

総務常任委員会

委員長 山本 実

### 初心忘れず!

部屋の片づけをしていると、紙袋が出てきました。

その中には、なんと新人時代の39名の子ども達が写っていた入園式の写真でした。懐かしく、当時の思い出が次々と浮かんできました。

当時の先生方は……。そして、子ども達はどうな人生を送っているのだろうかと思いを馳せながら、緊張だらけの一年間だった事。失敗しても「大丈夫よ。」と優しく声を掛けてくださった先生方。

「こんな心の温かい先生になろう。」と日々頑張っていた当時の自分を振り返る事ができました。たくさんさんの経験をし、保育士として歩んできた月日は、あつという間でした。

子ども達から日々学びがあり、生きる事の大切さ、ありがたさを感じております。

初心を忘れず、自分にできる事を探して「楽しみ」を追求して行きたいと、心新たにしております。

(松村 英子)







町民の皆さんの  
がんばりは町の元氣!!

今回は、町で起業した  
十文字秀敏さんです。

# 十文字 秀敏さん

■プロフィール：上町地区在住。1975年生まれ。48歳。  
六戸小・中学校、光星学院高校、関東学院大学卒。小学生から大学生まで、スピードスケートの選手として活躍。大学卒業後、神奈川県で測量会社に勤務。28歳の時に帰郷。帰郷後測量会社に勤務を希望したが、求人がなかったため介護職等を経験。その後、念願の測量の仕事に就き、令和元年に六戸町で測量会社、(株)ジエイエスを立ち上げる。  
六戸町6000's会員。今年から父親の田んぼを譲り受け、農業もはじめた。家族構成は妻、父、母の4人家族。



## 地元を盛り上げたい

今から三年前、45歳の時に測量会社を上町地区で起業しました。起業した時期が、ちょうどコロナ禍でしたし、町で起業して仕事を得られるか等の不安がありました。本当に勇気がいりました。

でも、六戸町で起業して町にお金を落としたい。自分の町内で起業して、地元を少しでも盛り上げたいと思って。

起業した当時は今ほど町のためにと強い思いではなかったんですが、町の活性化のためにも、やっぱり地元で起業してよかったと実感しています。

## 人との繋がりに感謝

一番大変なのは安定して会社を継続すること。経営は、必ず波があるのです。もし、仕事がなかったら、他の仕事をしてでもやってやろうと思っていました。

## 町議会に一言

ただ、測量という仕事柄か、工事現場が動いていない間に仕事に入らざるを依頼されるので、コロナ禍でもそこまで影響なく仕事をする事ができましたし、元勤務していた会社の方や、元請業者さんにも応援してもらいました。

本当に人に恵まれたと感じています。言葉では言い表せないくらい、感謝しています。

ゆくゆくは、県で一番の測量会社になりたいですね。なれる、なれないは別として。やるからには一番を目指しています。

町を動かすのは町民だと思ってるので、自分達でこういう町にしたいって想像すること、意見を出すことが大切だと思います。

議会の議事録や、議会だよりをよく読ませてもらっています。町民の声を代弁者としてこの質問をしているのかなと感じることがあります。これは個人的な質問で、本当に必要な質問なのかかって疑問も。もっともつと、町民の声をくみ上げた質問をしていただけたらなと思います。

そうすれば、活気のあふれる、にぎやかな町に少しでもなれるんじゃないかな。

聞き手 盛田嘉彦  
松村英子

## 編集後記

夏本番が近づくと、町内のあちらこちらでにんくの収穫が始まっています。品質が良く、価格もそれに伴い高く推移することを期待しております。

さて、わが広報委員会が新体制でスタートしました。議会活動を町民の皆様とにかくに分かりやすくお伝えするか、頭を抱えながら活動しております。

見やすく、分かりやすく、手に取って読みたくなる。そんな議会だよりを発行するために委員一丸になって取り組んでいます。

広報委員長 松橋 一男

## 議会広報委員会

委員長 松橋 一男  
副委員長 松村 英子  
委員 盛田 嘉彦  
長 杉山 茂夫  
高坂 茂夫

## 発行責任者

議長 下田 敏美